

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社ユーラスエナジーホールディングス（証券コード：ー）

【据置】

長期発行体格付
格付の見通し

AA
安定的

■格付事由

- 再生可能エネルギー（再エネ）の発電、開発、運営を主力とする事業持株会社で、豊田通商の完全子会社。当社に対する豊田通商グループの支配・関与度及び経営的重要度の観点から、同グループによる支援の蓋然性を考慮し、当社格付では同グループの信用力相当を基点に評価している。26 年 7 月末現在、陸上風力や太陽光発電を中心に、世界で 515 万 kW の設備容量を保有する。25 年 4 月にエネルギーマネジメントのノウハウを有するテラスエナジーと経営統合した。
- 収益基盤は良好である。当社は国内最大の風力発電事業者で、長期に及ぶ開発・運営実績を背景に豊富なノウハウ・知見を有する。天候不順による収支影響に留意する必要があるものの、再エネの需要増加が見込まれる中、発電所の所在が地理的に分散していることから、底堅い業績推移が想定される。今後も発電所等の開発投資に注力していく方針であるが、キャッシュフロー創出力と豊田通商との資金取引関係を踏まえると、安定した資金獲得が可能と考えられる。以上より格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 現状、収益の足かせとなる発電所はみられない。長期間にわたる実務経験をベースに当社の案件に対する目利き力は高く、開発では慎重な評価プロセスを経て行われており、プロジェクトスキーム、経済性、ファイナンス組成などで一定の条件をクリアした案件に厳選されている。海外では、現地に精通したパートナーと適宜連携し、事業リスクを抑えた開発が進められている。国内では発電所が所在する地域社会との関係は良好に保たれている。
- 資産の入替を通じた発電ポートフォリオの最適化を図る一方、エネルギーマネジメントやコーポレート PPA（CPPA）といったアセットライト事業の強化に取り組んでいる。足元では、CPPA の獲得で徐々に実績を増やしている。テラスエナジーとのシナジー効果や豊田通商の営業リソースを生かし、発電事業の収益力を維持・向上させつつ、電力バリューチェーン全体で収益力を高めることができるか、注目していく。

（担当）殿村 成信・小野 正志

■格付対象

発行体：株式会社ユーラスエナジーホールディングス

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年9月8日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武
主任格付アナリスト：殿村 成信
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「持株会社の格付方法」（2025年4月2日）、「企業グループの傘下会社の格付方法」（2022年9月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社ユーラスエナジーホールディングス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル